

分科会開催報告書

| | |
|---|-----------------|
| 報告日 令和 5年 6月 8日 (日) | 報告者 吉武惇二 |
| 分科会名 古文書を読む会 | 開催テーマ 尾張藩主徳川慶勝⑥ |
| 開催日時 令和 5年 6月 8日 (木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時 | 開催場所 金沢公会堂第二会議室 |
| 参加人数 古文書を読む会会員 男 8名 女 2名 合計 10名 (欠席者 1名) | |
| <p>1. 第 14 代将軍徳川家茂から尾張藩主徳川慶勝に宛てた 2 件の書状については学習した。当時の時代的背景は、禁門の変の後、長州や攘夷派が一掃され、「第 1 次長州征伐」を行うべしという機運にあった。1 件目の書状は、元治元年 (1864 年) 7 月 24 日付け、家茂より慶勝に宛てたもので、征長総監督の就任を要請するものである。慶勝は当初これを固辞したが、最終的に全権を自分に委任されることを条件にこれを受諾した。2 件目の書状は、元治元年 10 月 4 年付、家茂が征長追討にあたって、慶勝に宛てた全権委任状である。</p> <p>2. 慶応 2 年 (1866 年) 1 月、鳥取藩京都駐在役人から藩主池田慶徳に宛てた文書で、京都における情勢報告を学習した。その内容は、一会桑が徹底して毛利父子の伏罪を追及すべしとする意見があることや、長州が対幕府強硬論に変化していること等を伝えている。</p> | |
| 次回予定 令和 5 年 7 月 13 日 (木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：尾張藩主徳川慶勝が見た宮中社会① | |